

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

「特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律第四条第二項の地域及び特定有害廃棄物等を定める省令の一部を改正する省令案」及び「特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律第三条の規定に基づく同条第一号から第四号までに掲げる事項の一部を改正する告示案」に対する意見募集（パブリックコメント）について
【環境省 平成 29 年 2 月 7 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 28 年度第 2 回循環資源説明会 終了しました
2. 平成 28 年度第 2 回調査・研究部会（勉強会）開催のご案内

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 佐世保市が国際クルーズ拠点の整備へ
2. 平良港に新たなクルーズパースを計画、延長 400m、32 年供用
3. 長崎港活性化センター、『長崎港ポートセミナー』を都内で開催

=====

◇先週・今週の報道発表

「特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律第四条第二項の地域及び特定有害廃棄物等を定める省令の一部を改正する省令案」及び「特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律第三条の規定に基づく同条第一号から第四号までに掲げる事項の一部を改正する告示案」に対する意見募集（パブリックコメント）について

詳細は下記をご覧ください

<http://www.env.go.jp/press/103619.html>

【環境省 平成 29 年 2 月 7 日】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 28 年度第 2 回循環資源技術説明会 終了しました

平成 28 年度第 2 回循環資源技術説明会を、
2 月 9 日（木）福岡第二合同庁舎 本館二階 共用第 2～4 会議室にて開催致しました。
当日は多数の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

2. 平成 28 年度第 2 回調査・研究部会（勉強会）の開催について

標記部会を下記の通り開催致します。

日時：平成 29 年 2 月 21 日（火）15 時から 16 時半
会場：みなと総合研究財団 3 階会議室
内容：循環資源の情報ネットワークに関する取組事例の紹介

1. 廃棄物処理・リサイクル IoT 導入促進について
（一社）資源循環ネットワーク
2. モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業に
おける情報管理等
（株）酒田港リサイクル産業センター

部会員の方で、ご出欠の返信をいただいていない方は、
至急事務局へご連絡いただきます様お願い致します。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 佐世保市が国際クルーズ拠点の整備へ

佐世保市は佐世保港が官民連携国際クルーズ拠点形成計画として
国に選定されたことから、大型クルーズ船受入に向けた施設整備に
取り組む。三浦地区において既設岸壁を約 100m 延伸し、16 万 t 級
クルーズ船に対応した水深 10m 延長 370m を確保する。また浦頭地区
に突堤式により水深 12m、延長 410m のクルーズバースを新たに計
画している。

三浦地区のクルーズ対象岸壁は過年度に旧ふ頭をジャケット式で
前出しし、延長 270m の岸壁を整備した経緯があり、今後延長する
約 100m 区間は残っている旧ふ頭を同様のジャケット式によって
法線を揃え、延長 370m を確保する。佐世保市が 30 年 7 月の供用
を目指して施設整備を進める。

また浦頭地区のクルーズバースは新規施策になり 2 月 10 日に開か
れた地方港湾審議会で港湾計画に位置付けた。ジャケット構造の突
堤式岸壁を整備する予定で、当面は 14 万 t クルーズ船受入として水深
10m 延長 370m を確保する。こちらは直轄事業として整備を予定し、
32 年の供用を目指している。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 平良港に新たなクルーズバースを計画、延長 400m、32 年供用

沖縄総合事務局平良港湾事務所は、平良港が官民連携国際クルー
ズ拠点形成地区に選定されたことを受け、宮古島市と連携し大型クルー
ズ船受入に向けたハード・ソフトの取組みを進める。過年度から漲水地
区で進めている複合一貫輸送ターミナル整備事業にクルーズ受入機能
を付加し、その早期供用に向けた取組みを促進するほか、漲水地区の北
防波堤に沿った位置に延長約 400m 水深 10m 岸壁を整備、14 万 t 級
のクルーズ船を受け入れる施設を整える。同整備計画については新規事
業になり、宮古島市では 2 月 7 日、地方港湾審議会を開催し平良港港
湾計画の一部変更として、計画を位置付けた。

平良港は先島諸島の豊かな自然環境を背景にクルーズ船の寄港が増えており、27年は13隻だったが28年は86隻と急増した。

このため平良港湾事務所では漲水地区で整備中の複合一貫輸送ターミナルを活用することとし、11万t級クルーズ船に対応できる総延長350mの施設整備を進めることとなった。同岸壁は本年末に供用開始する。

また同ふ頭とは別に14万t級クルーズ船の受入バースを新規に具体化する。同計画は2月7日、平良港の港湾計画の一部変更として宮古島市が地方港湾審議会を開催し、計画の位置付けを行った。漲水地区の既設北防波堤に沿った位置に、延長400mのジャケット構造で計画しており、平成32年の供用を目標に予算化を前提に29年度から事業着手する。

【港湾空港タイムス】

3. 長崎港活性化センター、『長崎港ポートセミナー』を都内で開催

長崎港活性化センター、長崎県らの主催による『長崎港ポートセミナー』が2月8日、都内の会場で開かれた。苦瀬博仁流通経済大学教授が「ロジスティクスの歴史と港の将来」と題して特別講演したほか、長崎県が長崎港の動きを紹介。また長崎港と定期航路を結んでいる韓国の高麗海運と長錦商船が、それぞれの航路網や同航路の利便性を説明した。

セミナー開会にあたって宮脇雅俊長崎港活性化センター会長（長崎商工会議所会頭）は、「長崎は日本の最西端に位置し、中国、韓国など東アジアには一番近い地理的特性を有している。長崎港は現在、韓国釜山港と結ぶ定期コンテナ航路が週3便就航しているほか、不定期ながら国際フィーダー航路も就航するなど貿易港として重要な役割を担っている。当活性化センターでは荷主への助成制度を設けるとともに、貨物輸出増に向けたポートセールを積極的に展開している。本日のセミナーを契機に、更なる長崎港の貿易促進と関連する産業振興に努めたい」と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司	新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣	五洋建設（株）
木村 竜也	東京都
梅木 重光	（株）酒田港リサイクル産業センター
新谷 聡	りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありませんでしたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。